

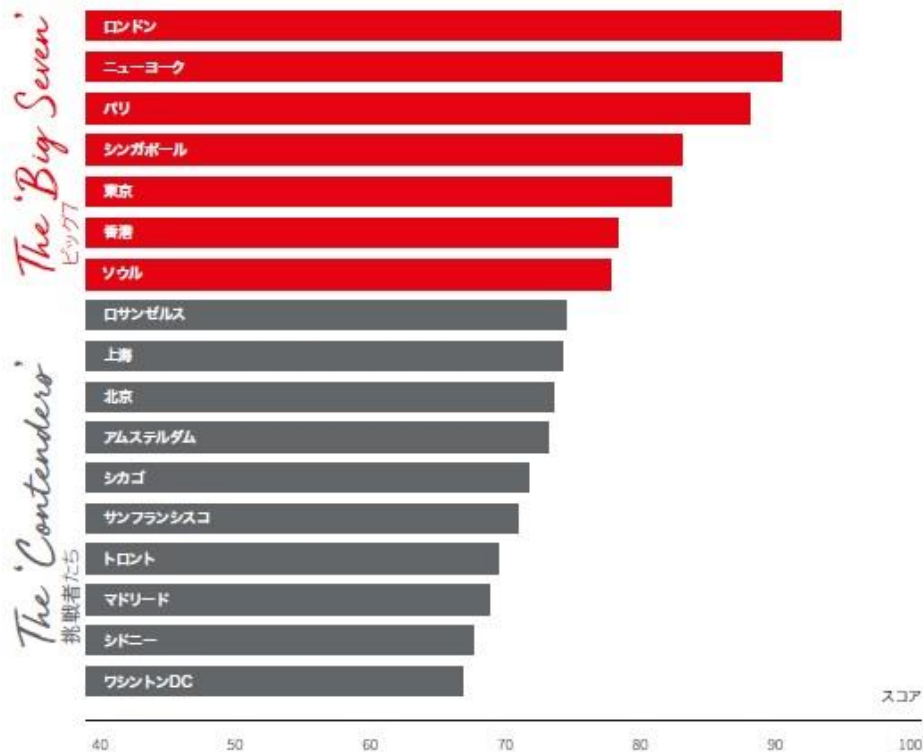
News Release

JLL、世界の都市比較インデックスを分析「都市パフォーマンスの解説」を発表 東京は「確立された世界都市」ランキング5位

東京 2017年 10月 23日 – 総合不動産サービス大手の JLL（本社: 米国シカゴ、CEO: クリスチャン・ウルブリック、NYSE: JLL、以下: JLL）は、The Business of Cities と共著で世界の都市比較インデックスを分析したレポート「都市パフォーマンスの解説」を発表しました。東京は、競争力のある世界都市ランキングで 5 位と、世界最高水準のグローバル都市（ビッグ 7）の地位を維持しました。また、東京、ロンドン、ニューヨーク、パリに加え、アジアの 3 都市（シンガポール：4 位、香港 6 位、ソウル 7 位）もビッグ 7 にラインクインし、これらに迫る挑戦者たる世界 10 都市とともに「確立された世界都市」群を形成しています。

本レポートでは、世界 300 以上の最先端の都市比較インデックスの中から網羅性、安定性、認知度に基づき選出された 44 の都市比較インデックスを 7 項目（企業のプレゼンス、ゲートウェイ機能、市場規模、インフラ基盤、人材、専門性とイノベーション、ソフトパワー）において分析し、都市の現状や発展のレベル、新たなトレンドを不動産の観点から検証しています。

2017年 確立された世界都市のランキング



ハイライトは以下の通りです。

- 競争力のある世界都市ランキングでは、ロンドン（1位）、ニューヨーク（2位）、パリ（3位）、シンガポール（4位）、東京（5位）、香港（6位）が上位6都市となっており、これに今回新たにソウル（7位）が加わり、世界最高水準のグローバル都市「ビッグ7」を形成している。
- ロンドン、ニューヨークが世界のグローバル都市を牽引し、企業の存在感、人材を惹きつける魅力、投資総額、文化や価値観で主導的な地位を維持している一方で、世界的な競争力においては、英国のEU離脱や米国の新たな保護主義時代到来により、厳しい視線が注がれている。
- 東京、パリはそれぞれ2020年と2024年の夏季オリンピックの開催地であり、大掛かりなインフラ整備が計画されている。東京は、成功する都市10条件^{*1}中「イノベーション」「人材」で2位、「スマートシティ」10位、「負担可能な不動産コスト」6位、「ブランドイメージ」8位にランクインしているものの、「透明度」19位、「インフラ」13位に位置しており、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、不動産市場の透明度向上、インフラ整備やさらなるグローバル化が期待される。
- 香港、シンガポールは、アジア太平洋地域における次世代のアーバニズムを形成しているが、アジア諸国との競争が激化しているためランキングの維持には相当な努力を要する。
- ソウルは、近代的インフラや革新的グローバル企業、非常に優れたインターネット環境の組み合わせで21世紀に備えており「ビッグ7」に加わったが、地政学的逆風と開放性を欠く社会、透明度の低さという課題を抱えている。
- 「ビッグ7」に続く都市「挑戦者たち」の10都市は、「ビッグ7」の都市的資産や特徴をより多く備えるようになり、急成長している。
- アムステルダム、サンフランシスコ、トロント、マドリードおよびシドニーは「新たな世界都市（New World Cities）」から昇格し、「確立された世界都市（Established World Cities）」として都市的資産や特性をより多く備えるようになった。
- 中国のアルファ都市である北京と上海は、「新興世界都市（Emerging World Cities）」から昇格し、両市の都市的資産は既に必要量に達しつつあり、中国の「一帯一路」構想が両都市のグローバルな道程の次の一步となる。
- 米国のアルファ都市、ロサンゼルス、シカゴおよびワシントンDCは、世界の都市別不動産投資ランキングで上位10位入りしているが、トップグループに加わるにはグローバルなゲー

トウェイ機能やインフラ基盤が一部不足している。規模、魅力、活発な産業と専門性の高さから、トップグループに一番近いのはロサンゼルスである。

※1 成功する都市の条件 1. イノベーション、2. 人材、3. インフラ、4. 長期的思考、5. 優れた運営、6. 透明度、7. スマートシティ、8. 負担可能な不動産コスト、9. ブランドイメージ、10. グローバル化

レポートの詳細は、JLL ウェブサイトをご覧ください。 www.joneslanglasalle.co.jp

JLL について

JLL（ニューヨーク証券取引所上場：JLL）は、包括的な不動産サービスをグローバルに提供する総合不動産サービス会社です。フォーチュン 500 に選出されている JLL は、不動産オーナー、テナント、投資家の皆さまのアンビション実現を支援します。2016 年度は、総売上高 68 億米ドル、年間の手数料収入は約 58 億米ドルに上ります。プロパティマネジメント及び企業向けファシリティマネジメントにおいて、約 4 億 900 万㎡（約 1 億 2,400 万坪）の不動産ポートフォリオを管理し、1,450 億米ドルの取引を完了しました。2017 年第 2 四半期現在、世界 80 カ国、従業員約 80,000 名、300 超拠点で展開しています。JLL グループで不動産投資・運用を担当するラサール インベストメント マネジメントは、2017 年 6 月 30 日時点で総額 576 億米ドルの資産を運用しています。JLL は、ジョーンズ ラング ラサール インコーポレイテッドの企業呼称及び登録商標です。 www.jll.com

JLL のアジア太平洋地域での活動は 50 年以上にわたり、現在 16 カ国、95 事業所で 36,800 名超のスタッフを擁しています。JLL は、2016 年インターナショナル・プロパティ・アワードにて、グローバル、アジア・パシフィック地域における「最優秀不動産コンサルタント賞」を受賞しました。また、リアル・キャピタル・アナリストティックスより、6 年連続でアジア太平洋地域のトップ投資アドバイザーに選出されています。 www.ap.jll.com

JLL 日本法人の詳細はホームページをご覧ください。

www.joneslanglasalle.co.jp

Connect with us



お問い合わせ：広報担当（エイレックス）吉岡・谷島

電話：03-3560-1289